

●だいに・東北 事務所

〒980-0803

宮城県仙台市青葉区国分町2-13-15

TEL: 022-265-5221 FAX: 022-223-2387

e-mail: daijini.tohoku@nssk.org

http://www.k4.dion.ne.jp/~nssk.toh/daizinitop.html

問い合わせ: 松村まで

■OPEN 月～金10:00～17:00 ■CLOSE 土・日・祝

いっしょに歩こう!パートII

東北教区東日本大震災被災者支援室

で ア じ に

# だいに・東北



おたより  
第9号

「この俺ア、其方等アどごオ大事にして来た。それと同じに、其方等も互アに相手エ大事にし合え。」

(山浦玄嗣・ケセン語訳聖書  
『ヨハネによる福音書』15:12)

## ～毎月11日の祈り～ 東日本大震災犠牲者、被災者を覚えて



2011年3月11日の東日本大震災発生から4年が過ぎようとしています。日本そして世界からお祈りとご支援を受けて被災された方々と被災地は少しずつ元を取り戻しつつありますが、いまだに先行きの見えない多くのこと、また新たな問題も抱え被災地の人たちは心の平安をなかなか取り戻すことができません。どうぞこれからも皆様のお祈りをよろしくお願いします。東北教区主教座聖堂では東日本大震災の犠牲者、被災者を覚えて毎月11日午後2時半から礼拝をささげています。平日の11日は参列される方は多くはありませんが、みな心を合わせ祈り続けています。「センターしんち」でも同日祈りと巡礼が続けられています。他の教区でも定期的に震災を覚えての祈りの集いが開かれていることを聞き、心強く思っています。どうぞこれからも折あるごとに共に祈り続けていただきたいと願っています。

2011年3月11日の東日本大震災発生から4年が過ぎようとしています。日本そして世界からお祈りとご支援を受けて被災された方々と被災地は少しずつ元を取り戻しつつありますが、いまだに先行きの見えない多くのこと、また新たな問題も抱え被災地の人たちは心の平安をなかなか取り戻すことができません。どうぞこれからも皆様のお祈りをよろしくお願いします。東北教区主教座聖堂では東日本大震災の犠牲者、被災者を覚えて毎月11日午後2時半から礼拝をささげています。平日の11日は参列される方は多くはありませんが、みな心を合わせ祈り続けています。「センターしんち」でも同日祈りと巡礼が続けられています。他の教区でも定期的に震災を覚えての祈りの集いが開かれていることを聞き、心強く思っています。どうぞこれからも折あるごとに共に祈り続けていただきたいと願っています。

### 9月から10月の主なできごと

- 名取買い物ツアー：運転同行 (9/4、18、25、10/2、19、23、30)
- まどかdeランチ：集い (10/21)
- 教会バサーのお手伝い、販売協力(ひまわり、まどか、石巻海産物、莓一笑ストラップなど)：会津若松聖幼稚園・諸聖徒教会 (9/7)、聖クリストファ幼稚園・仙台聖フランシス教会 (10/25)
- 黙想と祈り：午後2時46分。東北教区主教座聖堂 (9/11、10/11)
- 教会訪問、意見交換などの交わり：弘前昇天教会 (10/19)。八戸聖ルカ教会 (11/9)。山形聖ペテロ教会 (11/16)。能代キリスト教会百周年記念礼拝 (9/20)。バイアル山荘・鉛山聖教主礼拝堂冬季閉所式 (11/8)
- 被災地を巡り祈る：南相馬訪問 (11/3 仙台基督教会)
- 来訪者：海外を含め多くの方が様々な思いを持ってお訪ねくださった。出来る限り調整し同行ご案内した。主として郡山ベースを中心に郡山/福島/南相馬。センターしんち。仙台市隣接市町村(荒浜、名取市開上)を巡るなど。立教BSA (9/18-19)。日本BSA (9/24-26)。BSA第3支部OBOG (9/24-25)。横浜教区エフェタ (10/6-7)。アメリカ聖公会 (9/28-29)。三味線ライブ(箱塚桜塚団地9/21)。他教派の方の事務所来訪の機会に、フィリピン女性の方を囲み交わりの時を持った。(11/7)

\*このほかにも、各地の教会、教区、団体からの訪問があった。

### お支えに感謝いたします

「だいに・東北」の働きのため、皆様の献金をよろしくお願いします。

東北教区「だいに・東北」口座

七十七銀行一番町支店  
普通預金 9199438  
口座名義 宗教法人  
日本聖公会東北教区

郵便振替記号番号  
02280-6-88361  
口座名義 日本聖公会東北教区  
だいに・東北

\*受取り状を発送しておりますが、遅れる場合があります。ご了承ください。

## 「新地町と磯山聖ヨハネ教会の今 I」

福島県新地町にある磯山聖ヨハネ教会は毎月第2主日に聖餐式を行っています。聖餐式には、磯山の教会信徒だけではなく、仙台やその他教区内外の地域から礼拝出席や奉仕をしてくださっています。新礼拝堂の再建と将来のことについて話し合いを重ねている「磯山聖ヨハネ教会復興プロジェクト」の働きも覚えてお祈りください。今回は聖ヨハネ教会の三宅行(つよし)さんと、荒ミヨ子さんにお話しを伺いました。

早くインタビューに答えてくださった行さん、ミヨ子さんありがとうございました。

新地町と磯山教会のこれからについて望んでいることは？



三宅 行さん：

今教会の形もなにもないんですけども、これから設計士さんにも協力してもらって、大きさとか、形とかこれでもいいかということや皆で相談しているところです。磯山には家が一軒もなくなってしまったので、その維持管理、運営などについてどんなようにしていったらいいの、まだ考えているところなんです。仙台の教会の皆様方からご指導を受けながら、息長く、祈りの場所、祈りの丘の教会ということで、末永く続けばよいなと思っております。

広畑仮設住宅の今の様子を教えてください。

荒 ミヨ子さん：

私は広畑仮設に住んでいます。広畑仮設の人達も集合住宅2箇所に分かれて、造成地に住宅を建て始めているところ。早くに建てた人はもう引っ越しして暮らしていますから、仮設の中はだんだん人が少なくなってきて、今までの集まりのように、お話ししたり、編み物したりは少なくなってきています。家を建てているので、前が見えてきていて、自分の家に住めることを励みに皆さん頑張っています。

新地町の様子は、今、海岸線の方にいっぱい土盛りをしていて、ダンプが行ったり来たりして、活気づいています。土盛りの土をつかって防潮堤や高上の道路をつくっています。

ミヨ子さんの生活は？

土地は決まっているんですけど、住宅はまだ設計の段階で、私たちが(新しい家に)移るのは最後になるんでないなんて話をしています。まだ建て始まっていないのでちょっと心細い感じはしていますが、でも最後には建つんでしょ…ということで、それを目標に頑張っております。



ミヨ子さんの家が建つのはいつ頃ですか？

まだ、いつになるのか…。来年になると思います。土地は作田東の集団住宅にあります。周りの人たちは建て始めているんですけど、まだ更地で地鎮祭もなにもしていないから、いつになるのかな…と思っています。息子の家族と一緒に暮らすことになっていますし、土地も息子の名前になっていますから全て任せています。待ち遠しいですが、あんまりまだかまだかなんて思っていたのでは、気持ちがめいってしまいますので、なるように任せて私は畑に野菜を植えたりして気を散らして家が建つのをまっているところです。